

青森県西北農林水産事務所つがる広域家畜保健衛生所
津軽地区家畜衛生推進協議会
(TEL 0173-42-2276 FAX 0173-42-6087)



ゴールデンウィーク期間中における 防疫対策を徹底しましょう！（豚熱、アフリカ豚熱）

豚熱ウイルスを保有した野生イノシシが北上し、県内では令和6年8月から令和7年3月に至るまで、野生イノシシの豚熱陽性事例が確認されています。

ゴールデンウィークは人の流れが活発になる時期であるため、飼養衛生管理基準を遵守し、防疫対策の徹底を引き続きお願いします。

＜豚熱（CSF）について＞

国内では、北海道を除く全ての都道府県でワクチン接種が行われていますが、接種農場においても豚熱の発生が確認されていることから、引き続き警戒が必要です。

青森県においても豚熱に感染した野生イノシシが確認されており、農場へのウイルス侵入防止を徹底することが重要です。

＜アフリカ豚熱（ASF）について＞

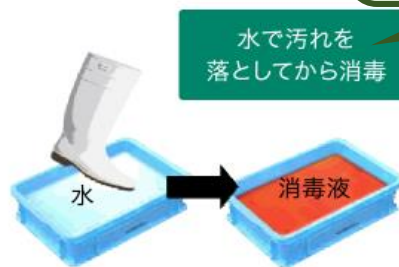
現時点では国内では発生は確認されていませんが、アジアやロシアをはじめとする全世界で流行が続いています。国内に病原体を侵入させないための対策が重要になります。

病原体の侵入防止対策の徹底を！

- ・ 疾病の発生状況把握と非清浄地域への渡航の自粛
- ・ 肉製品の国内への持ち込みは禁止
- ・ 衛生管理区域に関係のない人を立ち入らせない、不要なものを持ち込ませない
- ・ 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄、消毒の実施
- ・ 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底
- ・ 野生動物の侵入防止対策の徹底（防護柵、防鳥ネットの設置等）
- ・ 毎日の健康観察
- ・ 異状の早期発見・早期通報



関係者以外の農場への
立入を禁止



農場（畜舎）に出入りする際には、
消毒を実施



飼料に生肉を含む又は
含む可能性がある場合は、
十分に加熱処理

踏込消毒槽は汚れるたびに交換しましょう。
（汚れがなくても1日1回は交換）

豚熱は特徴的な症状が無く、気が付きにくい病気です

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

上記の症状を呈している家畜を発見した場合、
直ちにつがる広域家畜保健衛生所に連絡してください！

《つがる広域家畜保健衛生所》
（平日 8:30～17:15）0173-42-2276
（夜間・土日祝）090-8788-7459